

大会運営規程第23条の改訂について

2026年5月29日

公益財団法人日本バドミントン協会

事業本部長 朝倉 康善

1. 大会運営規程第23条改訂の経緯

2026年4月1日に発刊された『BAJ BADMINTON RULE BOOK 2026』では、全日本総合バドミントン選手権大会と国民スポーツ大会バドミントン競技において、着用すべきウェアについての新たな規定が付け加えられました。その後、バドミントンS/Jリーグ・バドミントンS/JリーグⅡを対象大会に加えること、新たな規定の運用上の変更を行うことを該当合同委員会・本部長会議で確認したので、下記のとおり改訂します。

2. 条文の改訂(改訂部分を青字で記載)

	改訂前	改訂後
大会運営規程第23条	<p>プレーヤーは、相手または観客に不快な感じを与えないように、競技中、競技用ウェア、シューズを着用し、競技の品位を保つために本会の審査合格品でなければならない。</p> <p>全日本総合バドミントン選手権大会および国民スポーツ大会バドミントン競技において、準々決勝からプレーヤーが着用するウェアは、マッチ中は色とデザインについては同じもの、または類似したシャツとショーツ(または同等の衣類)を着用しなければならない。また、1マッチを通じて色の変更は認められない。</p> <p>対戦相手のプレーヤー／ペアが明確に異なる色のウェアを着用していない場合、本大会申し込み締め切り時のランキングの低いプレーヤー／ペアが明確に異なる色のウェアを着用しなければならない。両プレーヤー／ペアの直近のランキングが同じ、または順位が付かない場合は、当該トーナメントの最新のランキングレポート(シード順位)に記載されている順位の低いプレーヤー／ペアがウェアの色を変更しなければならない。</p>	<p>プレーヤーは、相手または観客に不快な感じを与えないように、競技中、競技用ウェア、シューズを着用する。着用するウェア、シューズは競技の品位を保つために本会の審査合格品とする。</p> <p>全日本総合バドミントン選手権大会の準々決勝以降、国民スポーツ大会バドミントン競技の準決勝以降、バドミントンS/Jリーグ・バドミントンS/JリーグⅡにおいて、プレーヤーが着用するウェアは1マッチを通じて色の変更は認められない。ダブルスのプレーヤーはペアと、マッチ中色とデザインについては同じもの、または類似したシャツとショーツ(または同等の衣類)を着用しなければならない。</p> <p>対戦相手のプレーヤー／ペアが明確に異なる色のウェアを着用していない場合、以下の通りとする。</p> <p>(1)個人戦の場合 当該大会申し込み締め切り時のランキングの低いプレーヤー／ペアが明確に異なる色のウェアを着用しなければならない。両プレーヤー／ペアの直近のランキングが同じ、または順位が付かない場合は、当該トーナメントの最新のランキングレポート(シード順位)に記載されている順位の低いプレーヤー／ペアがウェアの色を変更しなければならない。</p> <p>(2)団体戦の場合 レフェリーの調整により運用される。</p>

以上